

### 【3】光園地区ってこんなまちです

#### (光園地区の紹介)

光園地区は佐世保市内最大の商業地区です。初売りで全国的に有名な三ヶ町・四ヶ町商店街、玉屋があります。また、公共施設である市立図書館や体育文化館、コミュニティセンターのほか、共済病院をはじめとして各科病院やビジネスホテル等の大型宿泊施設が多数あります。

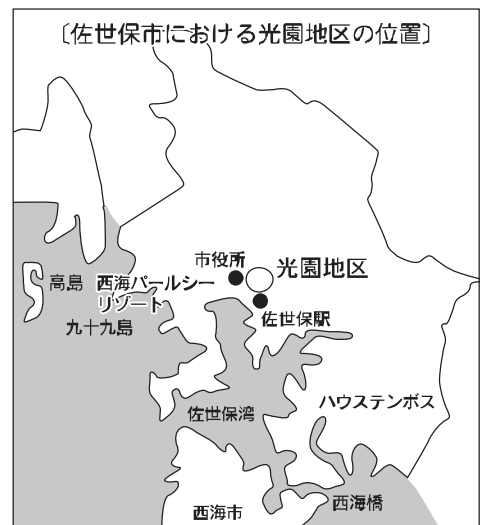
隣接地区にはアルカス佐世保、県立武道館、佐世保市立総合病院、JR佐世保駅、米海軍基地、佐世保港フェリー発着場、西肥バスセンターがあります。

地区の特徴として、かつてはドーナツ化現象が加速し、過疎化、人口の高齢化、少子化が顕著でした。現在では、長期居住者の減少と、マンションや賃貸住宅等の短期居住者の増加に伴い、老人会、児童会等の地域活動が有効的にできないという状況も生じています。

また、交通や流動人口の要所であるため、交通事故、大気汚染、軽犯罪やゴミの増加も地域住民にとって頭の痛い問題です。

この地区には、14ヶ町で構成する町内連合会や民生委員児童委員協議会、福祉対策推進協議会があり、地域で起こる問題を解決するために日々活動しています。

※この計画では、正式表記に基づいて町内会名等を「祇園」、小学校は「祇園小学校」と表記しています。

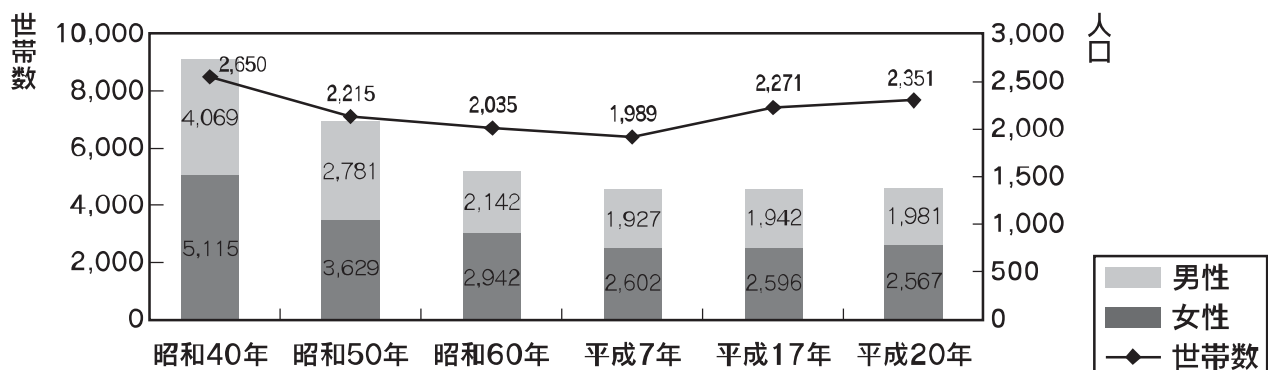


#### ★光園地区って……どのあたりをいうの？

現在、光園地区と呼ばれる範囲は、旧光園小学校の校区で次のとおりです。

|      |   |
|------|---|
| 町内会名 | 勝富町、祇園町一組、祇園町二組、光月町、高天町、栄町、島瀬町、島地町、常盤町、松浦町、湊町、宮崎町、宮地町、本島町 |
|------|---|

#### (光園地区の人口推移) ※いずれも10月1日時点の統計資料



## (光園地区“わがまち自慢”)

光園地区には“自慢”がいっぱい！その一部を紹介します。

### 小佐世保・祇園地区安全センター

小佐世保・祇園地区安全センターは、平成18年6月に高天交番跡地に、地域の安全安心の拠点として、誕生しました。

「犯罪のない明るいまちづくり」「安心・安全で住みよいまちづくり」をスローガンに、祇園地区と小佐世保地区の120名の組織で構成されています。安全センターには、毎日、各当番町が詰めており、学童の登下校時のあいさつ運動のほか、交通の安全確認や地区の巡回等も行っています。

見通しがよい安全センターからは、高天町から勝富町にかけて往き交う車や人の流れがよく見えるので、地域の見守りには最適です。また、夜には玄関に赤いランプを灯していて、地域の皆さんに安心を与えています。

なお、隣接する勝富公園は、勝富町自治会が定期清掃をするほか、日常的に町内の方が清掃及び草花の手入れをしています。



### あいさつ・声かけ運動、登下校時の見守り

「地域の子どもは地域で守り育てよう」をテーマに地域福祉実践活動として、祇園小学校と花園中学校までの通学路のうち、特に交通量の多いコミュニティセンター前の時差式信号五差路、小学校校門前、千住病院前三差路で、朝の登校時に平成15年から毎朝1時間、祇園町二組を中心に地域住民の皆さんがあいさつ運動を行っています。

毎月初めの2週間を、民生委員児童委員・警察補導員・健全育成会員・地域の住民など多くの方々と「おはようございます」の声かけと共に交通ルールや歩道でのマナーの注意もしながら登校を見守っています。

また、祇園町二組では、役員を中心に9名のボランティア員が交替で、毎月1週目を除き、月曜と水曜の下校時にも、児童の見守り活動を行っています。

最近では、子どもたちからあいさつをしてくれるようになり、また、通行中の大人や車の中からも笑顔であいさつを受けるなど意義ある地域活動となっています。



### 餅つき

祇園町一組は、30年以上前から毎年12月の日曜日に餅つきをしています。子ども部が主催する行事で、町の老人会・婦人部・青年部等の協力の下、幼児からお年寄りまで元気に楽しく参加しています。

幸いなことに、当町には餅屋さん・あんこ屋さんがあるので、専門的な指導を受けることができ、初心者でも立派な餅をつくることができます。

つきたての餅は、参加した子どもたちと民生委員の手によってひとり暮らし高齢者宅へお届けするなど、安否確認にも役立っています。

昔からの伝統行事として、今後も長く続けたいと思っています。

※祇園町二組でも、餅つきを行っています。



### 祇園ショップ

祇園小学校では、平成14年度から毎年11月頃、三ヶ町・四ヶ町の空店舗を利用し、「祇園ショップ」を開いています。商工会議所や各種店舗の指導・協力のもと、市場調査をしたり、流通の仕組みや宣伝・接客の仕方などを学んでいます。

20年度は、仕入れた商品に加え、5年生が作ったお菓子や4年生が育てた苗、3年生が作った野菜、1・2年生が作った芋などを6年生が販売しました。利益は、社会福祉協議会に寄付したり、次年度の仕入れ費に充てています。

店は大賑わいで、子どもたちの「いらっしゃいませ」の声が商店街に響きわたっています。

